

## 岡本 俊

〔市民連合〕

### 新中心街活性化 基本計画の進捗状況は

問 第2回定例会において年度内計画策定を明らかにした  
がその後の進捗状況は。

答 富良野市中心街活性化協議会において運営委員会と委員含め28名による4つの核施設、ソフト・イベント・まちなか居住・交通体系の専門部会で検討が続けられている。北海道経済産業局、東京大学教授の助言を頂き、市と法定協議会と連携し、年度内に計画を策定し内閣府に申請する。



取り壊された「くにい」跡地

### 通年雇用促進事業の対応は

問 冬季雇用支援制度は平成18年度をもって廃止され通年雇用促進事業が開始されたが、その事業内容と対象者への通知、事業推進について伺う。

答 沿線1市3町1村の行政経済団体で構成する富良野広域圏通年雇用促進会議を設立し取り組んでいる。事業内容は通年雇用支援セミナー・就職合同面談・就業支援セミナーを開催し今後は人材研修会、資格取得促進事業を実施の予定、周知は事業所の協力と本人へのダイレクトメール等で行っている。

### 新たな農業計画は

問 市長の言う「厳しい農業情勢の中で希望の持てる富良野農業実現を目指す」とした農業計画の検討内容、今後の策定スケジュールについて伺う。

答 11月19日に農政審議会委員15名を委嘱し審議し、農業計画の施策の方向性となる柱を作りたいと考えている。平成20年度に最終答申を頂き、後半には農業関係団体等と意見交換を行い、農業者への素案説明と意見を頂き反映した

い。計画は平成21年度より5年間の期間とする。

### 農村観光都市の施策は

問 農村の多面的価値、周辺の産業を有機的に連携し、住む人、訪れた人が幸せに感じる農村観光都市形成の具体的施策は。

答 地域資源や観光資源を有機的に連携し、長期滞在観光をめざし農業体験やエコ観光に取り組む。施策は市民と長期滞在者が共に快適に暮らすルールづくりに向け、観光協会や各団体、市民等のプロジェクトを発足し、富良野観光振興計画の策定を平成20年6月を目途に取り組む。

## 天日 公子

〔民主クラブ〕

### 市独自の子育て支援は

問 子どもを妊娠、出産、子育てのサポートとして買い物時に、割引や特典がつく優待カードについて伺う。

答 北海道において、同じ趣旨の「どさんこ」子育て特典制

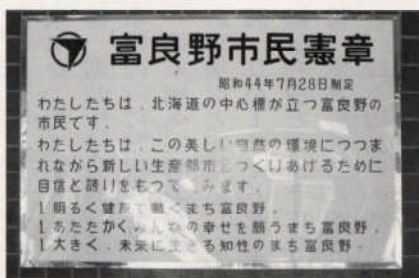
度」の動向を見極めて検討する。

問 時々妊婦さんを見ると、無事に生まれますようにと心から願う。まして、子ども三人目を生んで、育てていることには本当に感謝している。富良野では米も芋も、たまねぎもあり産地である。富良野産での援助は、第三子以後の誕生時の援助、給食費の免除あるいは減額について伺う。

答 第三子以後誕生時の援助、給食費の減免の実施は困難。妊婦健康診査は現行2回を、平成20年度4月から5回実施すべく、前向きに検討。

### 市民憲章を身近に

問 市民の手によって市民が法律や条例のような強制力をもつ形式を取るよりも、心からこれを守っていきましようという精神



文化会館掲示

の盛り上がりを伴ったのが市民憲章であり、先輩たちの思いがこめられている。この市民憲章が、市民の目にふれることが余りない。もっと、この経過を伝え、公共施設や地域会館、学校で掲示することはできないのか。

答 市民の願いとビジョンを掲げ精神的な規範を示した市民憲章の啓蒙啓発は必要。現在の設置場所の他、公共施設において掲示するよう努める。

### 固形燃料の減量と 分別徹底に取り組む

問 固形燃料袋が増加傾向にあり、分別が悪いと聞く。人員の確保と衛生・安全性は図られているのか。平成20年度に向けての対応は。

答 市民への分別説明が不十分な面もあったことから固形燃料ゴミが昨年と比較して増加。異物混入の増加により、破袋機の破損や故障など、修理に多額な経費がかかり、処理に影響が出ている。業務体制の中で増員配置など強化を図り事故防止の徹底、労働安全衛生にも努めている。今後は、町内会と連携した分別説明会等、ごみの減量化、分別の徹底に取り組む。協力を。